

びすてむ通信

VOL.73
2010年9月号



親孝行月間

先月、私の両親について少しお話をさせていただきました。遠い記憶ですが、なんだかとても温かく、懐かしい気がします。そういえば、ある本で「両親を大切にできないうちは、まだまだ半人前だ。」という文が記載されていました。私もまだまだ大切にしているとは言えないので、半人前ですね(笑)さて、今月は6月に開催された親孝行月間の報告です。初めてこの言葉を聞く方のために少しだけ説明します。中部ビジネスでは毎年6月に親孝行月間というものがあります。これは社長から3,000円ずつ社員さんに配られ、そのお金を元手に両親に親孝行をするというものです。1ヶ月の間、何をするか一生懸命考え、実行してもらいます。そして7月に全員で何をしたのか、その発表を行うというものです。さてさて、今年は何をしたのかな…。まず私は、食事に行きまし

た。実は何にしようかな～なんて考えている数日前の事、母が「はせべ」に行った事がないことが発覚しました。「はせべ」とは言わずと知れた、岡崎のうなぎの名店です。岡崎に住んでいながら、「はせべ」に行った事がない人がいるなんて…。衝撃的でした。だから今年と一緒に「はせべ」へ行くことにしました。初めて食べる美味しさにすごく喜んでいました。あ！いけない…。このままだと、また私の話だけになってしまいそうなので、私の話しはここまで！今年はお母さんがお母さんと旅行に行ったそうです。大衆演劇を見たり、温泉で背中を流してあげたりしたそうです。なんだか、想像しただけでも涙が出そうです。続いて前田さんは帽子をお父さんにプレゼントしたそうです。実家にサイズを聞こうと電話したら、姪が電話に出て、気がつくと姪にもプレゼントを贈る



はめになっちゃったんです。更に宮崎さんは家族4人でお酒を飲みに行ったそうです。お兄ちゃんが関東にいらしく、中々会えないのですが、法事で一緒になった際の食事代にしたそうです。続いて鈴木さん。お母さんが気になっていた土手の雑草を除去するために草刈機の歯と除草剤を購入したそうです。きれいになった土手を見て、大変喜んでくれたそうです。そして磯村さんは、階段の滑り止めを購入したそうです。お母さんが階段で2度も転んだ話を聞いて迷わず購入したそうです。皆さんも、ほんの少しでいいので、何かをしてみたいかがですか？きっと幸せな時間が訪れますよ！

みんなのひとり言

先日社長と磯村さん、鈴木さん、宮崎さんの4人でコピー機を2階に納品したそうです。その際、その急な階段を見て、4人共、愕然としたそうです。しかし、やるしかない!!? ということで、勇気を出して運んだそうです。その時悲劇は起こりました。な・なんと宮崎さんの足が階段とコピー機に挟まって動けなくなってしまったそうです。必死に脱出しようとする宮崎さんを見て、横で爆笑している社長…。な・なんて不謹慎な人だ！人が真剣に困っているのに…。後で理由を聞いたら、あまりにも必死すぎて、逆にすごく笑ってしまったそうです。この人は鬼か…。そう思ってしまったこの頃です…。でもちゃんと助けたいです。笑いながらけど…。

今月の格言!

幸せなときだけを
いくつないでも、
幸せとは限らないのよ。

(吉田修一)

苦しいときがあって、初めて
幸せを感じるのだと思います。
健康も、家族がいる幸せも、
そこに気がつかないのと同じ
ですね！



喜んでいただけました！のコーナー！

中部ビジネスの中で有名なおじいちゃんがあります。そのおじいちゃんは一度お店に来ると1～2時間ぐらい色々な話をしてくれるのです。これがお客様の少ない時や、時間に余裕がある時ならいいのですが、そのおじいちゃん来るときは、いつも忙しい最中です。だから中々ちゃんとお話を聞いてあげられないのです。お店にいつもいる人の中では超有名な人ですが、その事を知らずに、

たまたま営業さんやサービ
スさんがそのおじいちゃんと
少しお話をしてしまうと、大
変な事になってしまいます。
お客様からは呼び出しの電
話がかかってくるけど、おじ
いちゃんの相手もしなければ…。でもおじいちゃんのす
ごいのは、話の内容です。話
題はモールス信号の話し
や、折り紙の話し、最近の
ニュースの事など多岐にわ
たります。全部の話を聞いて
あげられないのですが、そ

れでも話し終えた後はすごく
うれしそうに帰られます。き
つと、周りにお話を聞いてく
れる人がいなくて、寂しいん
だろうな…なんて感じてしま
います。私もいつか年をとっ
て、誰かに話を聞いて欲し
くなる時が来たらどうしよ
う…なんて感じました。今度来
店されたときは、もう少し話
しを聞いてあげよう。でもそ
の前に…仕事をしっかり片
付けなきゃ！